

ニューノーマルな時代に必要な クラウドコンテンツ管理について

日鉄ソリューションズ株式会社
デジタルテクノロジー&ソリューション事業部

目次

1. ニューノーマルなワークスタイル	3
2. Boxが、これからの主要なビジネスツールである理由	6
3. Box機能紹介	15
4. Boxとワークフロー管理システム、電子契約システムとの連携	30

1

ニューノーマルなワークスタイル

時間/場所に縛られない働き方が、より重要となっている

ビジネスアプリケーションサービス

box

Agileworks

CONTRACTHUB

ZOOM

MS-Office



コンテンツ管理・活用・作成・保管

社内調整・承認

取引先調整・契約

Boxをコンテンツ管理基盤としたビジネスツール関連図

コミュニケーションツール

Microsoft OFFICE、
Office365、
Teams
など

コンテンツ編集・参照

コンテンツ管理システム

box

TV会議システム

ZOOM

会議・オンラインでの商談で
コンテンツ共有

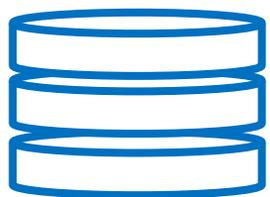
過去決裁の共有・検索・活用
契約文書、案件文書等の管理
案件、議事録、秘密文書の管理

プロセス管理、電子契約、業務システムなど
Agileworks CONTRACTHUB

2

Boxが、これからの主要なビジネスツールである理由

なぜ、box なのか？



容量無制限

ファイルサーバ
リプレース

USB HDD
廃止

**障害による
データ消失対策**



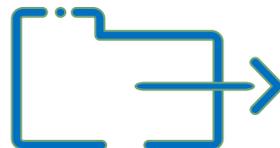
ファイルプレビュー

Office & Adobe 文書
動画・画像・音声



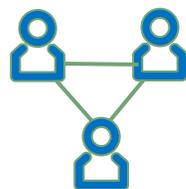
検索

- ・文書内検索
- ・ファイル名検索
- ・最新版の検索
(履歴管理)



共有リンク

巨大ファイルの送付
メール添付ファイル廃止



フォルダ共有

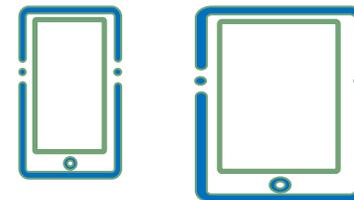
会社全体での
共有フォルダ

所属組織での
共有フォルダ

外部企業との
共同作業環境

遠隔地との
共同作業環境

モバイル

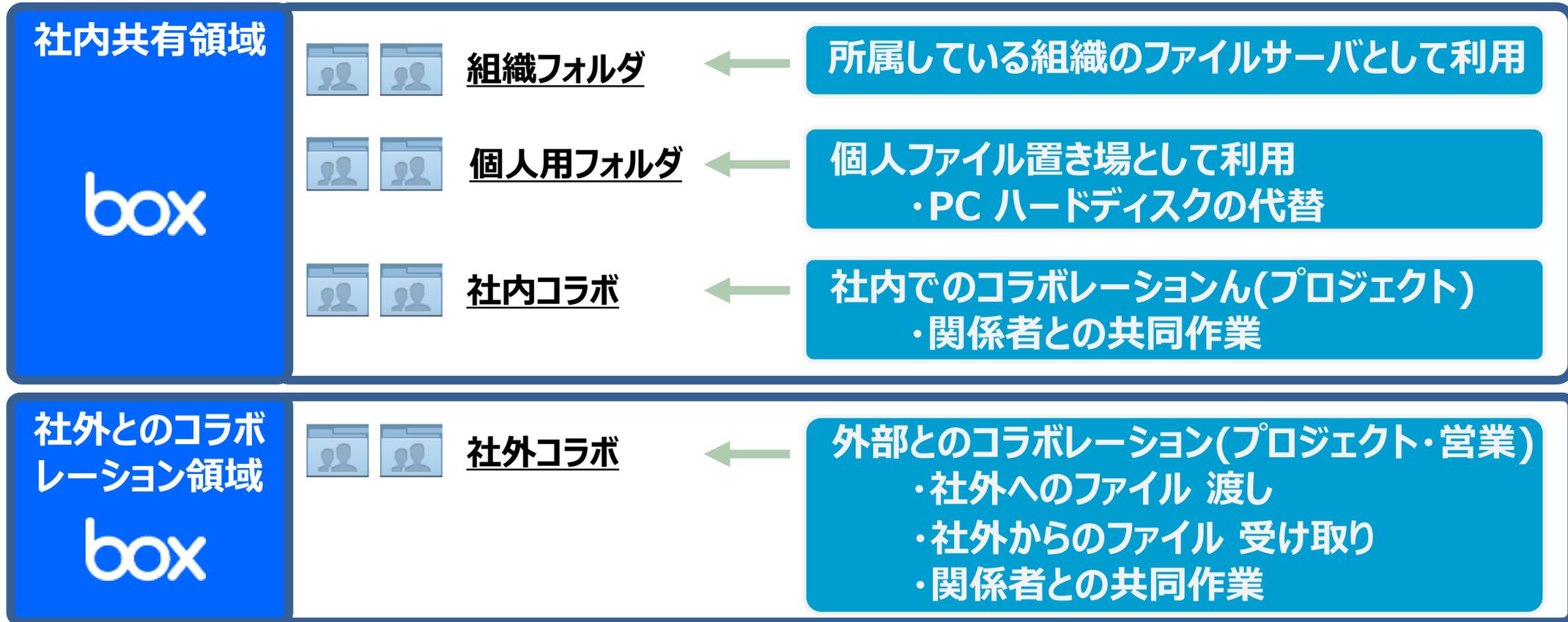


外出先でも
文書検索・閲覧・共有

企業向け管理機能・セキュリティ機能

box によって社内および社外との情報共有強化ができます

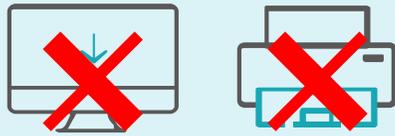
Boxでは、社内領域と外部共有領域とを分離して利用可能であり、目的別、共有企業・組織別にフォルダを分けることでセキュリティ面の安全性を確保しつつ、コラボレーションが面倒な処理をしなくても行えます。また社内に蓄積された情報資産の活用が促進できます。



box は、情報共有で必須な情報セキュリティを担保できます

テレワークや社外との情報共有において、必須となる情報セキュリティを担保しつつ、情報活用が可能です。

1



ファイルのローカルへの保存や印刷禁止

2



メールのファイル添付を行わない

3



ユーザ権限管理を自動化

4



機密情報は多要素認証により守る

5



文書毎のアクセスログ管理

6



ファイルサーバーと同等の
作業効率を確保

box の高いセキュリティ（国際的な規格に準拠したサービス基盤）

	FedRAMP 影響レベルは中程度 プロセスにおける影響レベルは高い(JABによる)		BCR Binding Corporate Rules (BCR)の 管理者および処理者としての承認
	SSAE16 Type II、SOC1/2/3 第三者機関によるテストと認証の取得		ITAR/EAR 輸出規制準拠のプラットフォーム
	FINRA/SEC 17a-4 ブローカー・ディーラー業での記録保存のSEC規則 17a-3および17a-4への完全準拠		DoD Cloud SRG 影響レベル4 (Mobile PKI Enabled)認定
	HIPAAおよびHITECH PHI、PHRs、および医療のための 信頼されたプラットフォーム		ISO 27001 情報セキュリティとシステム制御に関する 国際標準
	FIPS 140-2 CMVP# 2583		ISO 27018 PII保護のための国際標準
	G-Cloudフレームワーク 公式データタイプ保管を認証する UK政府のフレームワーク		GxPバリデーション 医療、研究所、製造業の コンテンツ保管のための資格
	Cloud Computing Compliance Controls Catalogue (C5) ドイツ政府による認証		TCDP Trusted Cloud Data Protection
	TÜV Rheinland Certified Cloud Service データセキュリティ・プライバシーの認証		プライバシーシールド EUからUSへの個人情報移転における、 収集、利用、保持の要件への準拠

(参考) ファイルサーバ、他クラウドとの比較

比較項目		Box (クラウド)		ファイルサーバー	
ファイルサーバー 基本機能	災害対策	○	• 地理的分散し、米国内3箇所保持	△	• バックアップ体制の構築 • 運用維持は別途必要
	システム監査	○	• 侵入対策、暗号化、等の有効性を外部監査によって証明	△	• 監査ログ設定・運用を個々に実施
ファイルサーバー 高度機能	モバイル対応	○	• 標準モバイルアプリあり (MDMとも連携可)	△	• 別途ツールが必要
	メタ検索 全文検索	○	• 全文検索可 • メタ検索フィルタを用意	△	• 限定的な検索機能
	通知、改訂履歴	○	• ユーザーによる履歴把握可 • 世代管理可(~無制限)	×	• 機能なし
	ログ管理	○	• 全アクセス取得可	△	• 指定監査ログのみ
外部コラボレーション機能	ファイル共有/送付(一方向)	○	• 3層権限(フォルダユーザー、社内ユーザー、公開リンク) • パスワード/期限/DL可否設定	×	• 外部との共有不可
	社外との双方向送付	○	• 社外の方にフォルダへの7層権限をユーザーが付与可	×	• 内部(社内)共有のみ
管理コスト	インフラ運用・保守コスト	○	• インフラ運用保守コストよりもサービス利用料が安価	×	• 自前の運用監視コスト • 拡張更新コスト都度発生

(参考) ファイルサーバ、他クラウドとの比較

比較項目		Box (クラウド)		他社クラウドコンテンツ管理	
ファイルサーバ 基本機能	災害対策	○	• 地理的分散し、米国内3箇所保持	○	• 複数の保護レイヤを備えている
	システム監査	○	• 侵入対策、暗号化、等の有効性を外部監査によって証明	○	• 侵入対策、暗号化、データセンターアクセス管理等実施
ファイルサーバ 高度機能	モバイル対応	○	• 標準モバイルアプリあり (MDMとも連携可)	○	• 標準モバイルアプリあり (MDMとも連携可)
	メタ検索 全文検索	○	• 全文検索可 • メタ検索フィルタを用意	△	• 全文検索可 • 検索フィルタは制限あり
	通知、改訂履歴	○	• ユーザーによる履歴把握可 • 世代管理可(~無制限)	△	• 日数制限などの制限あり
	ログ管理	○	• 全アクセス取得可	△	• レポート機能に制限あり
外部コラボレーション機能	ファイル共有/送付 (一方向)	○	• 3層権限 (フォルダユーザー、社内ユーザー、公開リンク) • パスワード/期限/DL可否設定	○	• 2層権限 (チームメンバ、公開リンク) • パスワード/期限/DL可否設定
	社外との双方向送付	○	• 社外の方にフォルダへの7層権限をユーザーが付与可	△	• 2段階の権限のみ • 組織外メンバーやフォルダの判別ができない
管理コスト	インフラ運用・保守コスト	○	• インフラ運用保守コストよりもサービス利用料が安価	○	• インフラ運用保守コストよりもサービス利用料が安価

なぜ、boxなのか？

box は数多くの企業に導入されています

お客様社数

7,300+

日経225

50%

攻めのIT経営銘柄
2019

65%



* 2020年8月1日時点でロゴの使用許可をいただいているお客様

box 採用企業の感じたメリット

- 定期的な容量不足からの解放
- サーバ保守からの解放



- ランサムウェア等のウィルスに社内データが一括で感染するリスクへの備え



- 可視性の高いアクセス権限管理への改善



- メール添付の乱用による情報漏洩対策



- フィールドワーク や テレワークなど、社外アクセスが求められる働き方に対応



- 遠隔地や外部企業とのフォルダ共有によるビジネスの効率が向上



box 採用企業の感じたメリット

ユースケース1



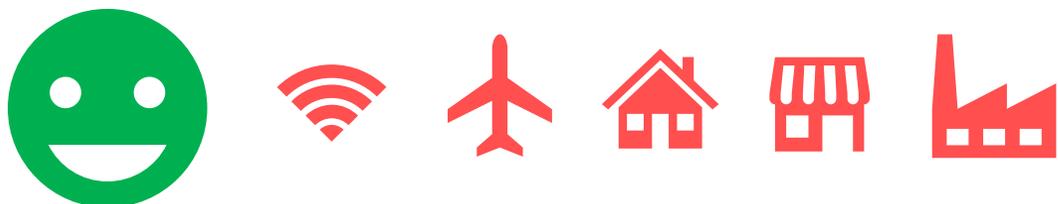
Boxの履歴管理をしながら、社外の人と文書校正・プロジェクトの業務が容易になった。社内メンバと同様の方法で業務が出来る。

ユースケース3



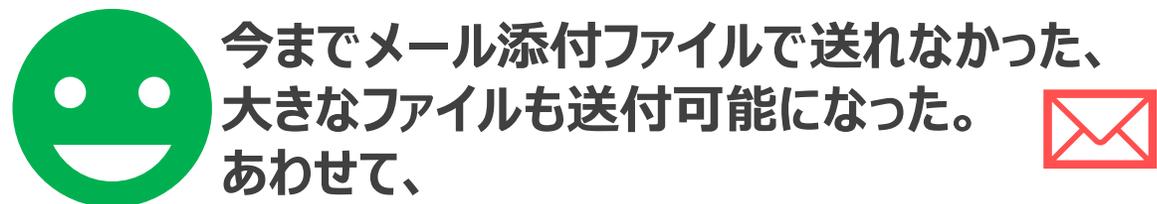
プロジェクト業務で、プロジェクトリーダー主体で素早くアクセス権管理が出来るようになり業務の効率が向上。

ユースケース2



外での業務が求められる職種で、会社に戻らないと進められない業務が大幅に削減され業務の効率が向上。

ユースケース4



今までメール添付ファイルで送れなかった、大きなファイルも送付可能になった。あわせて、ダウンロードを禁止した共有リンクの活用で、ファイルを渡さずに作業指示することも可能になった。



3

Box機能概要紹介

基本操作 : 検索

Box内のコンテンツは**ファイル名検索**・**全文検索**で見つけ出すことができます。

ファイル名称・全文検索

完全一致 "Box"
AND検索 "Box" and "共有"
NOT検索 "Box" not "共有"

box

"Box and 共有"

種類 ▼ 変更日 ▼ フォルダの場所 ▼ 検索範囲 ▼ 所有者 ▼ タグ ▼ サイズ ▼ メタデータ ▼

並べ替え 関連性 ▼

MS-WORD Box資料.docx [V2] [2] [🔒]
すべてのファイル > Box関係
・遠隔地との共同作業環境 モバイル → ・外出先
でも文書検索、閲覧、共有 日本国内企業でのBox導入目的とはセキュリティ強化の一環でBoxを採用する。メール添付の運用を禁止。働き方
変更日: 2019年7月21日

MS-WORD Box_コラボレーションと共有リンク.docx [V2]
すべてのファイル > Box関係
コラボレートと共有リンクの違い
リンク共有 →閲覧や編集ができる →閲覧のみ
(資料を一読程度) コラボ or 共有 ...迷った時は?

フィルタリング検索

コンテンツフィルタ

メタデータ

メタデータ項目検索

ファイルの種類
すべての種類

更新日

所有者
一選の名前またはメールアドレスを入力

"Box関係"内のみを検索する

※ 閲覧中のフォルダ内検索にも対応

基本操作 : フォルダツリー検索

Box内フォルダのツリー表示も可能です。

The screenshot shows the Box web interface with a search bar at the top. The search bar contains the text "フォルダを検索" (Search folders). A dropdown menu is open, showing a list of folders. The search bar and the dropdown menu are highlighted with red boxes. Red annotations explain the search options:

- フォルダ名検索** 最上位階層でのみ呼び出せるボタン (Folder name search button that can only be called from the top level)
- フォルダを検索** フォルダ名での絞り込み (Search folders narrowing down by folder name)

The main content area shows a list of folders and files:

名前	ファイル数
すべてのファイル	
Box関係	15ファイル
新規作成/...	2ファイル
Box共有/...	5ファイル
コラボテス...	2ファイル
Box共有	7日、更新者:... 11ファイル

基本操作 : 履歴管理

同じファイル名のファイルを上書きアップロードすると、自動的に履歴管理されます。

The screenshot shows a file management interface for a PowerPoint file named "_201904.pptx". The file was updated by "MKI_デモ_技術検証用". The interface includes a "詳細" (Details) section with an information icon, and an "アクセス統計情報" (Access Statistics) section with a table of actions:

アクション	回数
プレビュー	34
編集	9
コメント	0
ダウンロード	4

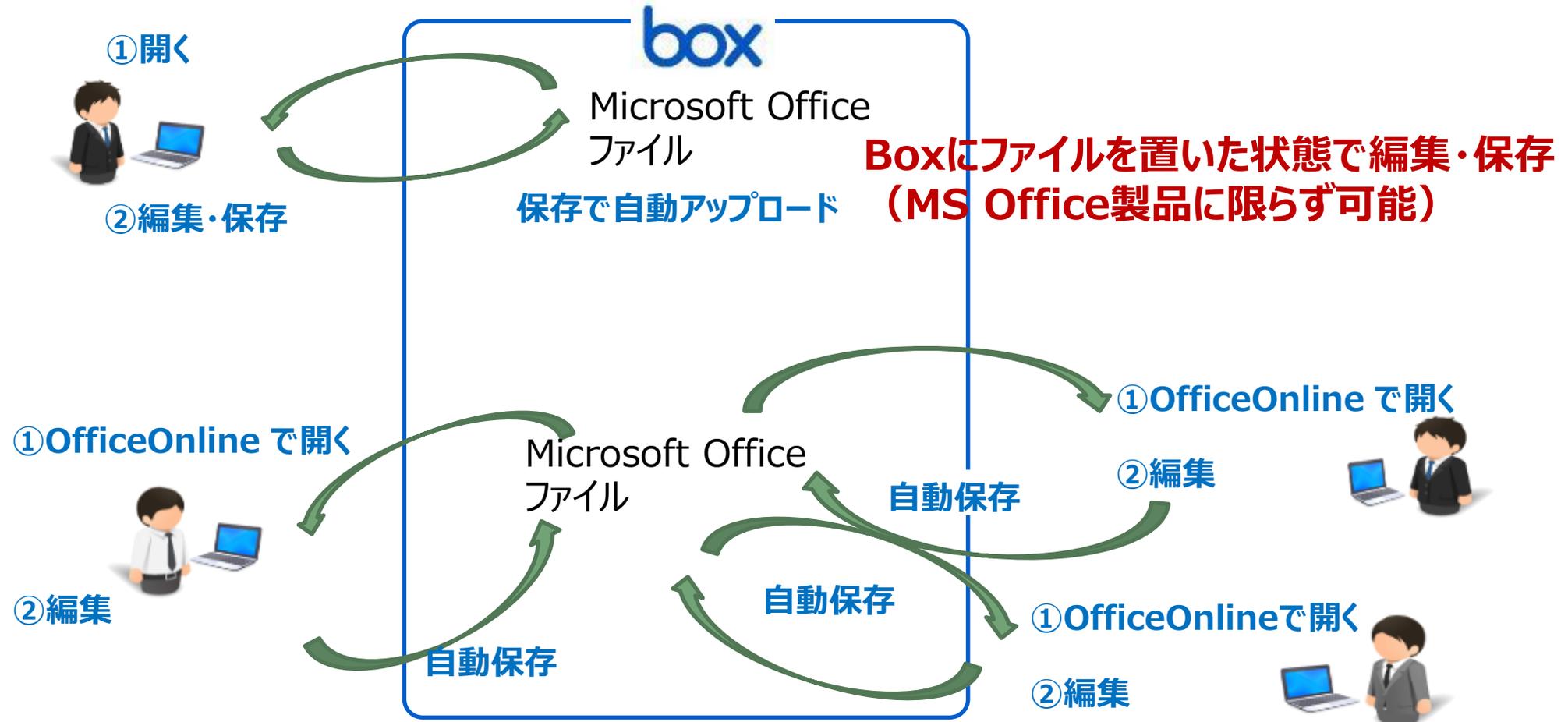
Below the table, there is a link "保存されたバージョン(10個)" (Saved Versions (10 items)). This link is highlighted with a red box and points to a detailed view of the version history on the right.

The detailed view, titled "バージョン履歴" (Version History), shows a list of versions:

バージョン	アップロード日時	アップロード者	サイズ
V10	昨日 17:53	MKI_デモ_技...	33.35 MB
V9	8月2日 17:32	MKI_デモ_技...	32.96 MB
V8	8月1日 17:03	MKI_デモ_技...	31.31 MB
V7	8月1日 16:26	MKI_デモ_技...	31.3 MB
V6	8月1日 15:20	MKI_デモ_技...	31.3 MB

ファイルの編集： クライアントOfficeとOfficeOnline

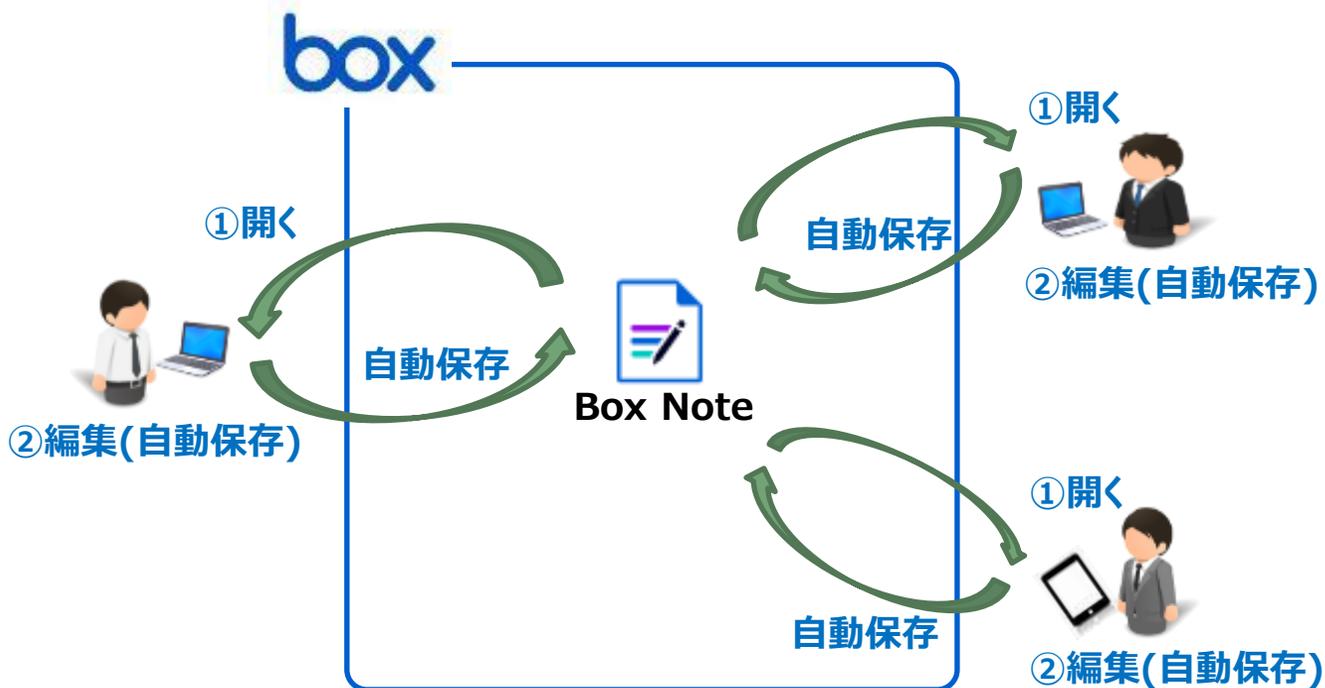
Boxは、多くのクラウドサービスと異なり、「ファイルをクラウドからダウンロードすることなく、クライアントの編集ソフトで編集可能な機能」を提供しています。また、Microsoft Office製品に関しては、BoxからOffice Onlineで開くことで、ファイルはBoxに置いた状態で複数ユーザで同時更新が可能になります。



Boxにおけるファイル編集 - Box Noteの利用

Boxでは、Box Noteという「複数人で同時に記入可能なメモ帳」が提供されます。Box Notesは操作が簡単で、画面が小さいiPhoneのようなモバイル端末からも更新が容易であるため、移動中の更新も可能。業務の様々なシーンで利用することで、効率改善が望めます。ここでは、代表的な利用方法を紹介します。

複数人で同時に記入可能



代表的な利用方法

会議ツール

メールでの案内

Q&A対応

リンク集

トラブル解決

報告資料

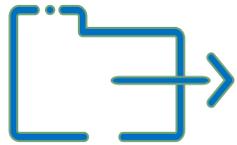
台帳記入 や 意見回収

Boxにおける情報共有について

Boxには、以下の「共有リンク」と「フォルダ共有(招待)」という2つの情報共有手段があります。これらにより非常に効率良く安全な情報共有、共同作業が可能になります。

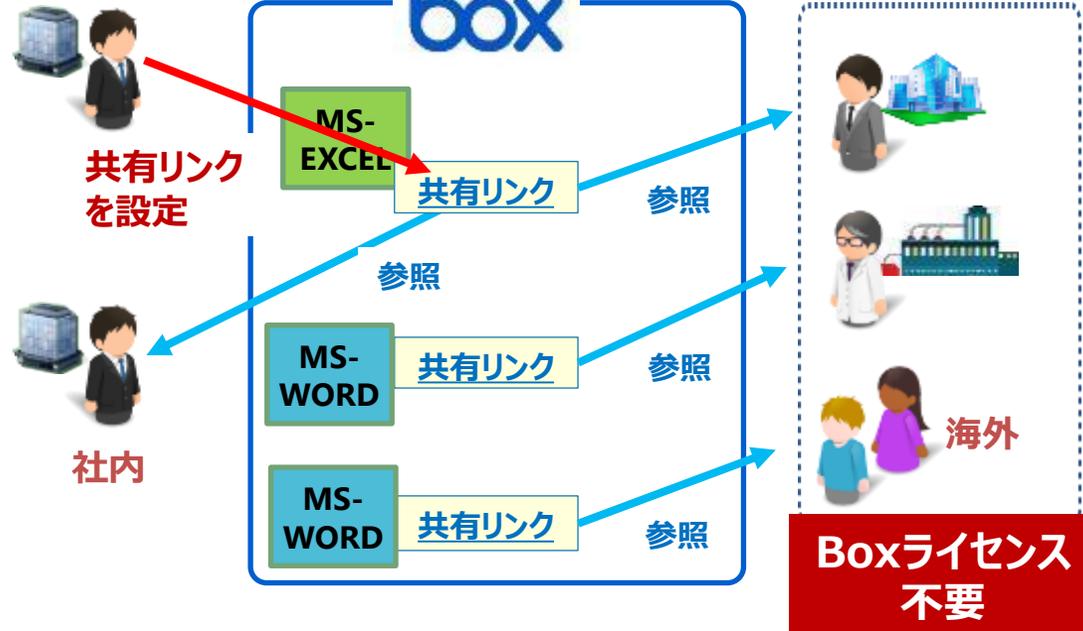
共有リンク

一方通行コミュニケーション



一次的なファイルの共有
巨大ファイルの送付
メール添付ファイル廃止

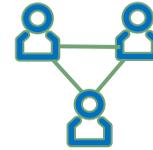
情報のオーナー



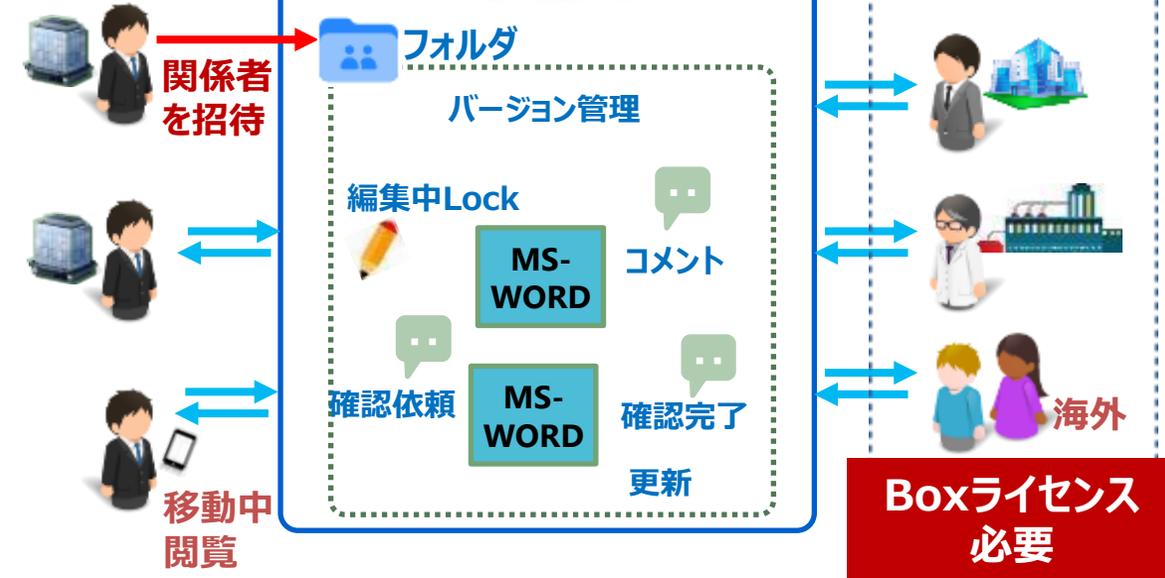
フォルダ共有(招待)

双方向コミュニケーション

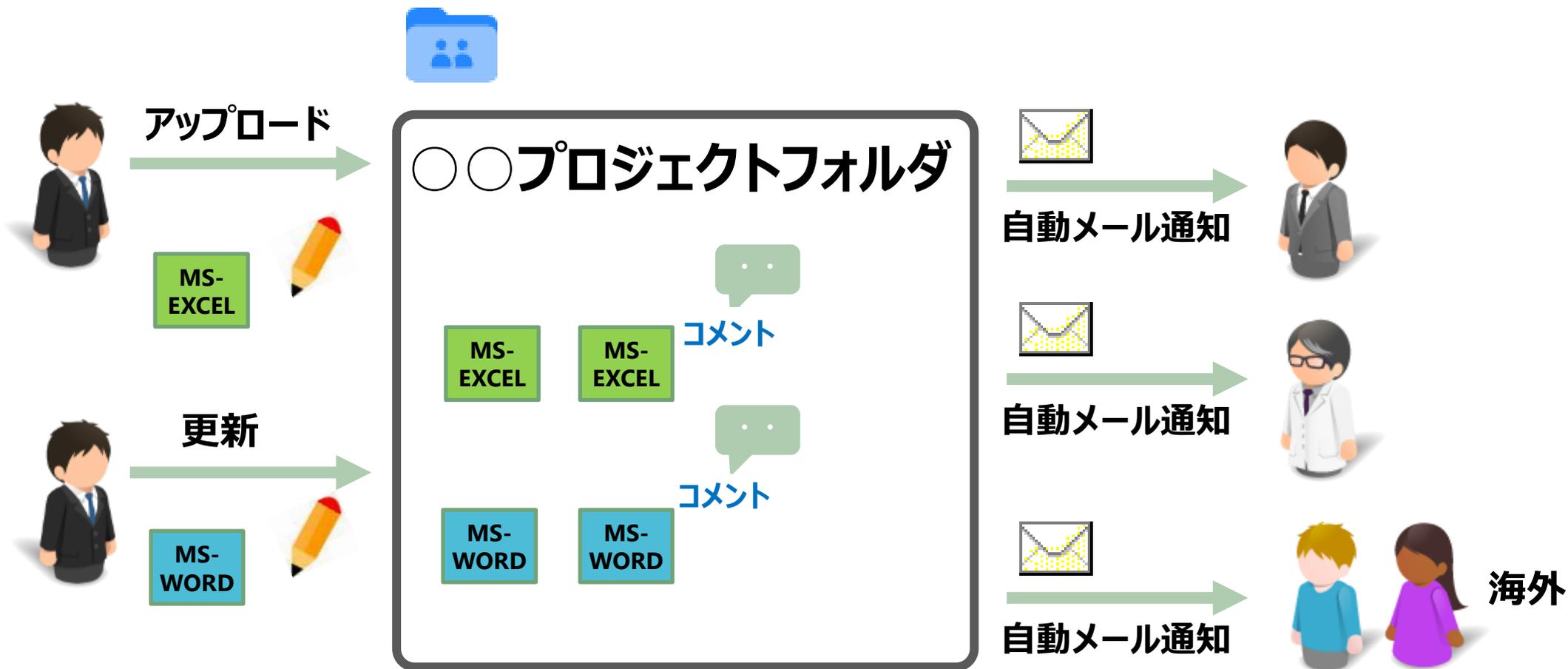
会社全体や所属組織の共有フォルダ
外部企業との共同作業環境
遠隔地との共同作業環境



情報のオーナー



最新の資料・カタログは、見逃したくない。いち早く知りたい。
登録アップロードや更新すると 関係者に自動通知が行えます。



Boxにおける情報共有 - ファイルアクセス履歴の確認

編集権限があれば、プレビュー/ダウンロード等のログ(名前、日時)を確認することができます。これにより、メールファイル添付では不可能だった相手の添付ファイルの既読状況が分かるので、より早い行動を起こすことが可能になります。

【例】急ぎの依頼で、相手が未読の場合、素早いRemindが可能。
誤送信時、相手が未読かの確認が可能。

The image illustrates the steps to check file access statistics in Box. It shows a file named 'ユーザー説明会.pptx' selected in a shared folder. A right-click context menu is open, with 'プロパティ' (Properties) selected. The 'アクセス統計情報' (Access Statistics) option is highlighted in the sub-menu. This leads to the 'アクセス統計情報' (Access Statistics) dialog box, which displays the following data:

'ユーザー説明会.pptx'のアクセス統計情報	
8	7
プレビュー	編集
0	2
コメント	ダウンロード

今日

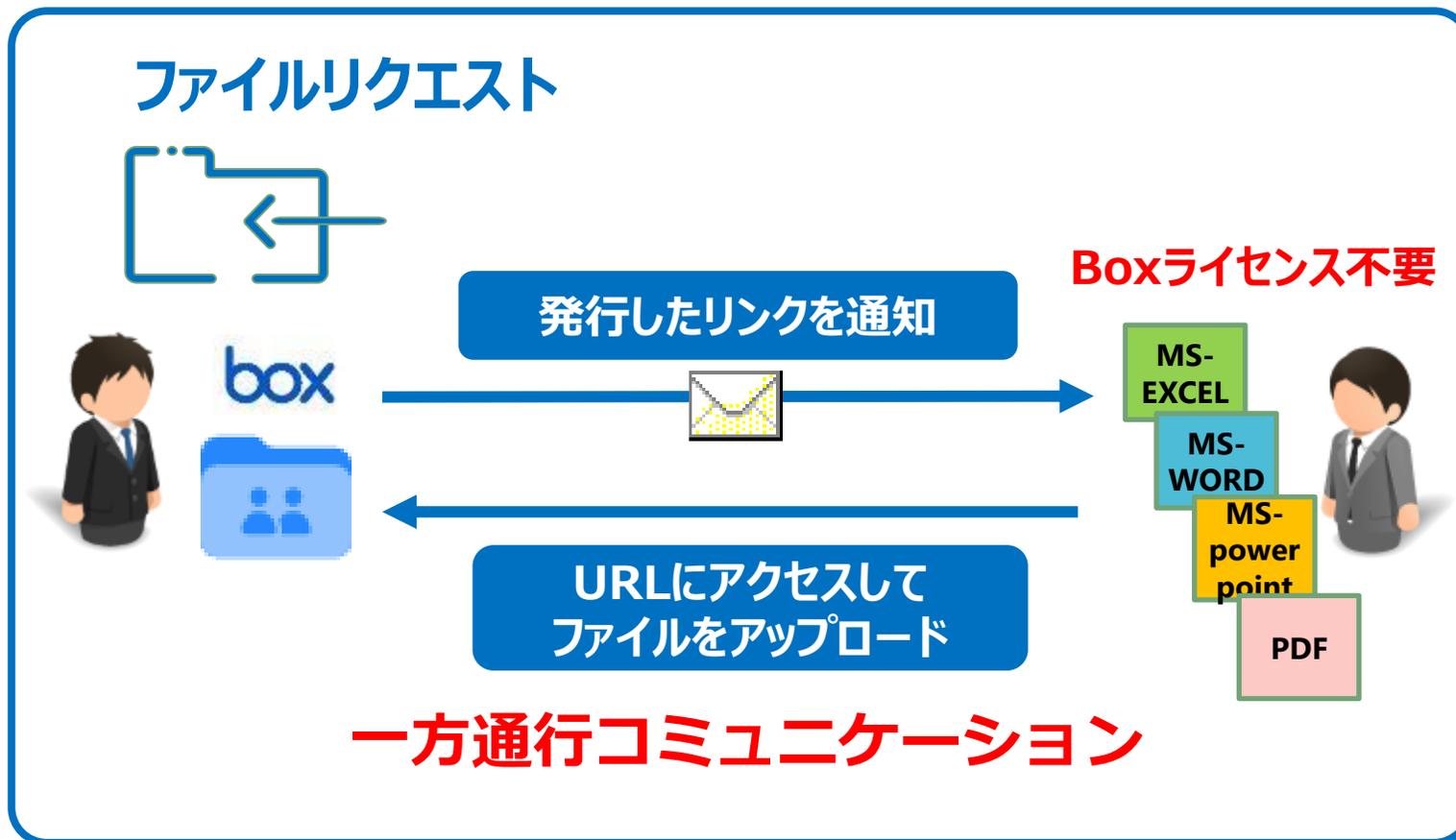
- 三井 太郎
プレビュー日: 今日、時刻: 10:15

先週

- 三井 太郎
編集日: 2019年12月13日、時刻: 18:03 Box Editを使用
- 中野 花子
プレビュー日: 2019年12月13日、時刻: 17:21
- 三井 太郎
ダウンロード日: 2019年12月13日、時刻: 17:11 Box Editを使用

閉じる

ファイルアップロード用URLを発行することで、URLを通知されたユーザは、**Boxにログインすることなく**、コンテンツを特定フォルダに**直接**アップロードできます。



【使いわけ】

- **ファイルリクエスト**
相手からファイルを受け取りたい時
- **共有リンク**
相手にファイル/フォルダを送りたい時
- **コラボレーション**
フォルダ内でファイルの共同作業をしたい時

特定の人に、ファイルの完成・確認・作業依頼等を送る

コメント機能

ファイル プレビュー画面 や BoxNote画面から
伝えたい人を指名して、コメントして通知することができます。

The screenshot shows the BoxNote interface for a file named 'Boxユーザー説明会.pptx'. The main area displays a slide with the 'box ユーザー説明会' logo. On the right, there is an 'アクティビティ' (Activity) section with a microphone icon and the text: 'まだアクティビティはありません ユーザーにコメントおよび@メンションして知らせます。' Below this, a red-bordered box highlights the 'コメントを入力' (Enter comment) input field, which is currently empty. Below the input field, there is a small text: 'ユーザーに@メンションして知らせます。' and buttons for 'キャンセル' (Cancel) and '投稿' (Post).

メンションしてユーザー宛に
コメントを通知する

The screenshot shows a comment notification in the BoxNote interface. It features a red 3D cube icon, the user name '@馬場一将', and the text: '資料を作成しましたのでご確認をお願いいたします。' Below the text, there is a checkbox labeled 'タスクを追加' (Add task) with an information icon. At the bottom, there are buttons for 'キャンセル' (Cancel) and '投稿' (Post).

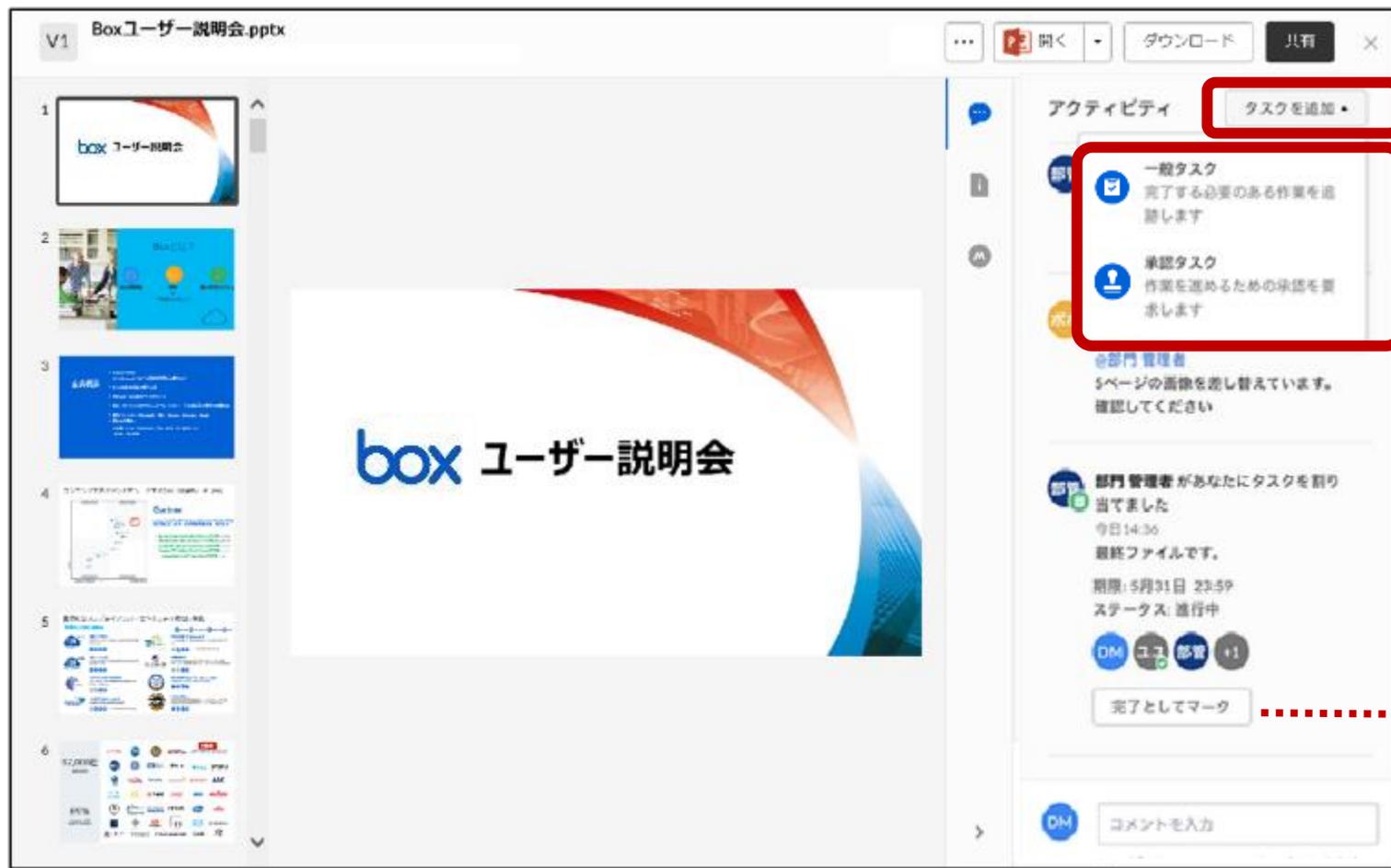
コメントの入力

伝えたい人を指名して、コメントする際は、
キーボードを英数入力モードにして、
@を入力して、名前やメールアドレスを
ご入力して下段に表示される候補リストから
選択してください。@で指定された人にメール
が送信されます。

特定の人に、ファイルの完成・確認・作業依頼等を送る。

タスク機能

ファイル・プレビュー画面 や、Box Note画面から、特定の相手に、**タスクを割り当てる**ことができます。タスクには**一般タスク・承認タスク**の2種類があります。



一般タスク

：ファイルに対して完了を管理
一般タスクを割り当てられた担当者には、「完了」を選択を求める通知が送られます。



承認タスク

：ファイルに対して承認／拒否を管理
承認タスクを割り当てられた担当者には、「承認」または「拒否」の選択を求める通知が送られます。

一般タスクやコメントのやりとりは、プレビュー画面のアクティビティ欄で閲覧できます。

活用シーン：契約書、日報・作業報告書の承認等の簡易なファイルの確認プロセス

誰でも、簡単に、すぐに使えます！

文書閲覧

オフライン閲覧

共有リンク作成 & 送信

ファイル検索

文書内検索

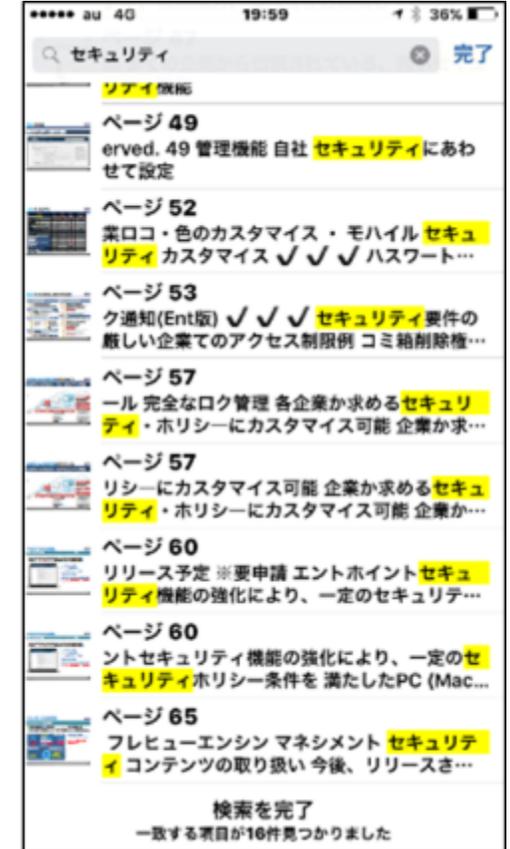
プロジェクター接続



文書閲覧



ファイル検索



文書内検索

Box Drive

Boxがエクスプローラー・Finderに表示。
ユーザーが開いたことがあるファイルのみをローカルにキャッシュします。
管理コンソールの台数制限管理対象外です。

※ フォルダの色は判別不可になります。
(黄色・青色・灰色)

名前	更新日時
01_Aプロジェクト	
02_Bプロジェクト	
XX社様共有	
YY社様共有	
参考資料	
部分共有	
20190514_リンク確認.xlsx	2019/07/01
Boxコアアプリ.xlsx	2019/07/11
Boxサービスプラン.xlsx	2019/07/10
Box資料 2.pptx	2019/07/17
Box資料.docx	2019/07/18
Enterprise設定.pptx	2019/11/18

3

BoxとAgileworksやCONTRACTHUBとの連携

BoxとAgileworks連携によりBox機能に高度なプロセス管理機能を付加

Boxによる情報資産の管理、検索、活用、共同作成などのコンテンツ管理機能およびAgileworksによる社内稟議業務社内業務をシームレスに連携しペーパーレス化による生産性、付加価値向上を図ることができます。

社内・社外との情報共有、共同作成、事前調整

社内稟議業務



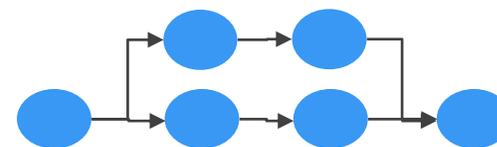
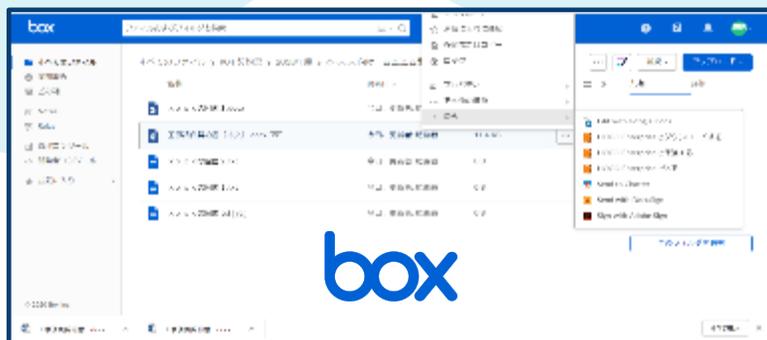
社内

- ✓ 文書案の授受
- ✓ 文書内容調整
- ✓ 関係文書の共有

取引先A

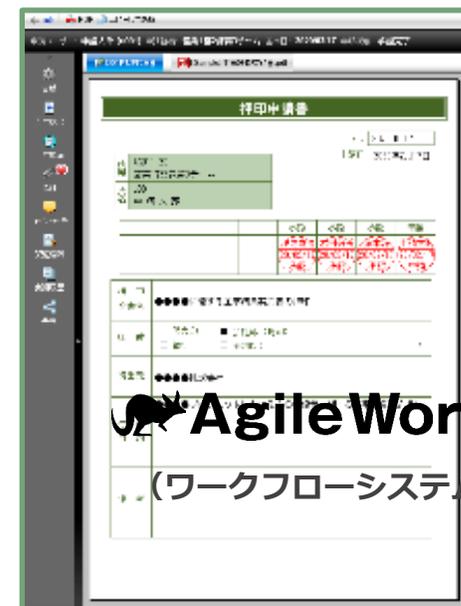
社外

取引先B



- 契約書審査/稟議
- 捺印申請
- 受発注承認/決裁

データ連携



AgileWorks
(ワークフローシステム)

社内業務と取引先との契約業務をデジタル化で融合しシームレスな業務連携！

コンテンツプラットフォーム



容量無制限の企業間連携、デジタルワークプレイス変革。システム連携機能開発。

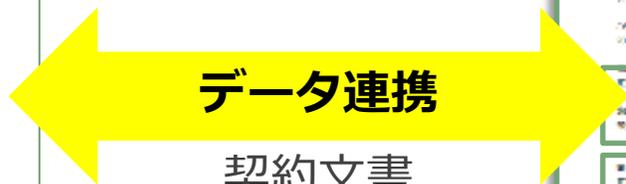
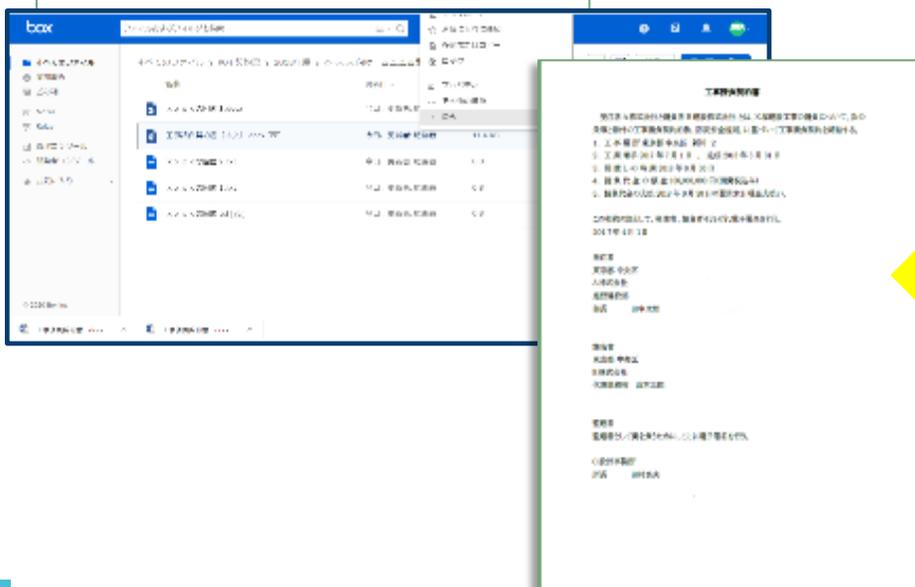
BoxとCONTRACTHUBの連携により電子契約に必要な要件を高いレベルで達成することができます。

- 電子帳簿保存法への対応
- 契約の成立性の証明できる情報担保
- 取引文書の抜けもれ防止チェック
- 契約準備段階から取引企業間での情報授受がスムーズに行える支援機能が必要

電子契約サービス



B2Bでの各種契約手続きの電子化や契約書の長期管理・契約の成立性確保、法的要件対応に適す。



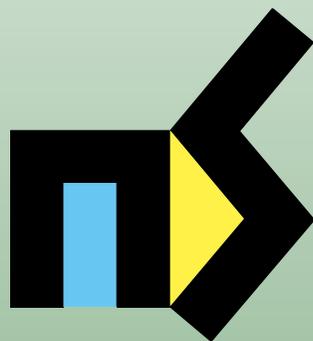
データ連携

契約文書
契約情報



自社の電子署名

取引先の電子署名



NS Solutions

サービスに関するお問い合わせ

日鉄ソリューションズ株式会社

ITインフラソリューション事業本部

E-mail : dts-marketing@jp.nssol.nipponsteel.com

<https://www.marketing.nssol.nipponsteel.com/>

〒105-6418

東京都港区虎ノ門1丁目17-1

虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー

(本資料ご利用にあたっての注意事項)

- 本資料は、弊社が信頼できると判断した情報源に基づいて作成していますが、その確実性・完全性に関して保証するものではありません。お客様におきましては、本資料をご参照の上、お客様の業務を把握する専門家にご相談されることをお奨めします。
- 本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社もしくは執筆者の判断であり、今後、予告なしに変更されることがあります。

■その他本文記載の会社名及び製品名は、それぞれ各社の商標又は登録商標です。NSロゴ、NSSOL、NS Solutions、absonne (アブソヌ)、@absonneロゴ、NSXPRES、CONTRACTHUB、CONTRACTHUB@absonneロゴは、日鉄ソリューションズ株式会社の登録商標です。

MS-Office、Microsoft office、Microsoft teams、Microsoft office365

zoom、Box、Agileworks、iosの会社名、製品名はそれぞれ各社の登録商標です。

本文には、三井情報株式会社様作成コンテンツより出典したものが含まれます